

教科名	科目名	単位数	年・組
国語	国語特講 I	3	2年10組

使用教科書	副教材
『精選現代文B』教育出版 『精選古典B改訂版』大修館書店	『新国語総合ガイド改訂版』京都書房、『入試頻出漢字+現代文重要語彙TOP2500』いっずな書店、『新精選古典文法改訂版』東京書籍、『シンプルスタイルシリーズ古文単語301』『新明説漢文』『古典センター試験のための基本練習マーク10』尚文出版、『現代文解法のテクニック2(標準編)改訂版』啓隆社、『読み・解き・覚える日本文学史必携』第一学習社

1. 学習の目標

<ul style="list-style-type: none"> ・近代以降の様々な文章にふれ、読解力を高めるとともに、ものの見方・考え方を深める。 ・古典としての古文を通して、ものの見方・感じ方・考え方を広くし、古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を育てる。 ・古典としての漢文を学ぶことで、日本文化が漢文から受けた影響と知り、双方をより深く理解する。 ・問題演習を通し、基礎力の充実から応用力へのステップアップを図る。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 話すこと・聞くこと	3. 書くこと	4. 読むこと	5. 知識・理解
自ら進んで授業に取り組み、課題等をきちんと提出しているか。異なる文化に対する関心を深め、進んで表現しようとしているか。	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手に分かるように伝えようとしているか。また、人の意見を的確に聞き取れているか。	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書けるか。	自ら進んで授業に取り組み、課題等をきちんと提出しているか。様々な文化に対する関心を深め、進んで表現しようとしているか。古文・漢文を適切に読解できたか。	語彙を増やし、知見を自分のものしてきたか。また、筆者の主張を十分に理解した上で、批判的に読むことができたか。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	基礎学力到達度テスト対策	問題演習	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み(態度・発言・予習) ・課題提出状況・内容 ・小テスト ・定期試験
		現代文「地図の想像力」	「記号としての地図」という概念を捉えて、論理的に理解しようとしている。	
	5	古文『枕草子』(中納言参りたまひて)	登場人物に注意し、主語を明確にしながらか読解する。敬語の意味や用法、敬意の方向を理解する。	
		漢文「故事成語」(画竜点睛)	本文を正しく理解し、故事成語としての意味や用法を理解する。	
	6	現代文「言葉と貨幣」	言葉と貨幣に共通する「本質」を捉え、論理的に理解する。	
		古文『更級日記』(源氏の五十余巻)	物語にあこがれる作者の様子を読み取る。	
	7	漢文『史記』(四面皆楚歌す)	文脈を正確にたどり、大意を把握する力を養う。	
2	9	現代文「バックストローク」	人物、情景、心情の描写を的確に捉え、表現を味わう。	
		古文『源氏物語』(桐壺)	登場人物の人間関係を正確につかみ、微妙な心理の動きをたどれるようにする。	
	10	漢文「漢詩」(『秋浦歌』『送友人』『登高』)	近体詩の形式を学ぶ。それぞれの詩情を味わう。	

3	11	現代文『『である』ことと『する』こと』	文章の書かれた時代背景と現代社会に通じる普遍的な課題について考える。	授業への取り組み (態度・発言・予習) ・課題提出状況・内容 ・小テスト ・定期試験
	12	古文『源氏物語』(若紫)	大意や要旨を正しく把握させる。敬語法について理解させる。	
	z			
	1	漢文「思想—儒家」(過猶不及、何必曰利)	儒家の思想を理解し、本文から読み取る。	
	2	現代文「資本主義と社会的欲望」	人間と世界の関係性について考えを深める。	
	3	古文『大鏡』(競べ弓)	人物や事件に対する作者の的確な描写と批判的態度を読み取る。	
		漢文「小説」(定伯売鬼)	漢文の物語の面白さを味わう。漢文の句法を正確に読み取り、内容を把握する。	
		問題演習	年間を通じ、以下のことを行う。 *朝のHRも利用し、小テスト等を行い、受験レベルの漢字・語彙力等の養成に力を入れる。 *実力養成・実力テスト対策として、過去問や問題集を使い、演習を行う。	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。